令和2年 第4回定例会

11/26 ▼ 12/16

小林　憲人 議長

第4回定例会では、小・中学校体育館への空調設備設置を含む一般会計補正予算（第9号）、第3庁舎建替工事請負契約、小・中学生用タブレット端末導入に伴う財産の取得や市立産業文化センター、市立児童センターの指定管理者の指定など市長提出議案が全て全会一致で可決されました。

また、議会運営委員会提出の議員政治倫理条例の一部改正が可決されたほか、議員提出議案の意見書3件が全て可決されました。

総括質疑

本会議での質疑をまとめています。

新型コロナ感染症への対応と災害に強いまちづくり

令和2年度一般会計補正予算（第9号）

災害に強いまちづくり

問　予算計上された避難所用プライベートテントの概要と効果は。

答　避難所におけるウイルス等に対する感染拡大防止対策を強化するため、屋根付きプライベートテントを75張り購入し、1避難所当たり3張りを配備する。また、更衣室や授乳室などプライバシーに配慮した避難所運営に対しても効果が見込まれる。

1人1台のタブレット端末導入へ

問　事業全体のタブレット端末の導入台数は。

答　今年度整備した小学校6年生、中学校3年生用のタブレット端末1900台に加え、小学校2年生から5年生、中学校1、2年生用に6162台を整備する。また、今回補正予算で整備する300台と現在コンピューター室に整備している790台を合わせて小学校1年生用とし、合計9152台のタブレット端末を整備していく。

問　タブレット端末導入の効果は。

答　体育の授業で活用したり、国語の作文の学習で活用したりと様々な場面での活用のほか、グループでの話し合い活動においても全体発表に用いるなど授業改善が図られている。

先行導入した小学校6年生、中学校3年生の積極的なタブレット端末の活用が学校全体に良い効果をもたらして、他学年のコンピューター室のタブレット端末の積極的な活用につながっている学校もある。

問　今後の課題は。

答　各学校の好事例や先進的な取り組みを全校で共有することで授業改善を図ることと、ICTを活用した授業改善に関する教員研修を図ることが挙げられる。

ローラースライダー撤去工事

問　撤去工事の理由は。

答　令和2年10月に市民から西ノ原中央公園のローラースライダーを使用した際に怪我をしたとの報告を受けた。

既に設置から22年が経過しており、部品の摩耗や劣化が進んでいる状況である。安全管理上の観点から今回、撤去工事に至った。

問　撤去工事のスケジュールと周知は。

答　事業者が決定したのち5月の連休前後までには完了する見通しである。ホームページ、市報などのほか、遠足などで利用する公園なので担当部署を通じて周知を図る。

問　撤去後の遊具の更新は。

答　現在、遊具の更新に向けて設計業者と選定を行っている。来年度予算で更新を予定している。

第3庁舎建替工事請負契約

新第3庁舎を建築

問　工事の内容は。

答　社会福祉協議会が使用していた第3庁舎とヘルパーステーション、市民団体等が使用していたふれあいプラザかみふくおかを解体して、新たに鉄骨造3階建ての（仮称）ふじみ野市第3庁舎を新築し、引き続き使用していただく予定である。また、県道側からふじみ野ステラ・イーストに通じる歩道を整備し、交差点付近にポケットパークを整備する。

問　工事のスケジュールは。

答　解体工事については、令和3年1月から着工し、解体終了後から約1年半をかけて新築工事を進め、令和4年夏の完成を目指して、整備を進める。

（仮称）東地域文化施設多目的棟大規模改修工事請負変更契約

ステラ・イースト工事請負契約変更

問　外部改修工事変更に至った理由と今後の対策は。

答　改修工事を進める中で設計時より屋上のコンクリートが厚かったことなどが判明した。既存図面との相違が今回の変更の要因である。竣工図に反映させて今後着手する文化施設整備につなげていきたい。

3密を避け一般質問を書面で実施

第4回定例会は、全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大する中、本市においても市内での感染者が急増したことに鑑み、市議会としての責務を果たしつつ新しい生活様式を取り入れ、密閉・密集・密接を避けるべく当初の会期日程を変更し、市政に対する一般質問を口頭ではなく書面により実施しました。

なお、全ての質問と回答は会議録に記載するとともに、市議会ホームページの会議録検索システムで閲覧することができます。（システムへの掲載は2月中旬の予定）

◆議案に対する総括質疑

青藍会　加藤　恵一　議員
日本共産党　伊藤　初美　議員
公明党　島田　和泉　議員